

令和6年度 地震防災強化月間

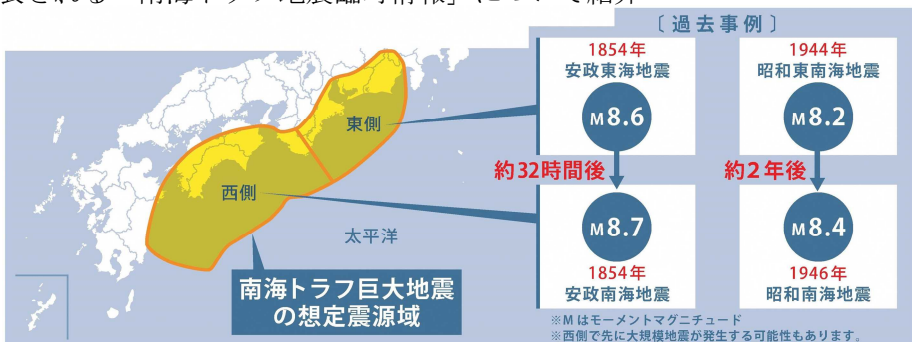
実施項目参考表（重点項目・・・太枠）

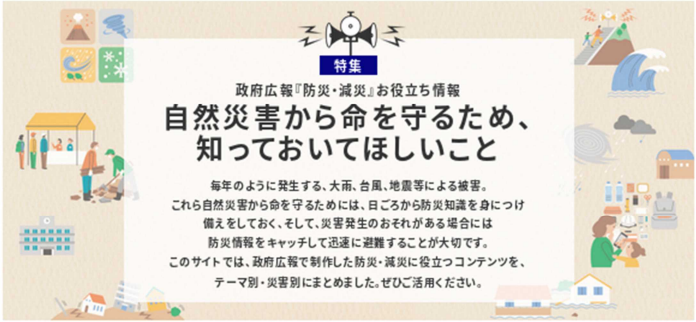
（１）自助

① 自宅での生活継続を図るための取組

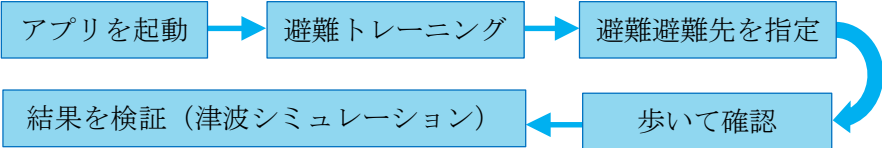
	推進事項	実施事例(周知に使えるコンテンツを紹介)
【住居】	住宅の耐震化  (耐震ナビ)	[静岡県木造住宅耐震補強 IT ナビゲーション 耐震ナビ] 耐震診断や耐震補強工事の補助制度、県・市町の相談窓口等を紹介 耐震ナビ 静岡県木造住宅耐震補強ITナビゲーション  無料の耐震診断は令和6年度、耐震補強工事の補助は令和7年度で終了します。 早めに市町窓口へ相談しましょう。 県内耐震化率 89.3% (H30 住宅・土地統計調査より推計)
	家具類の固定  (家庭内DIG)	[家庭内DIG] 地震が来ても我が家で暮らす方法の実践  震度6以上では、ほとんどの物が倒れ、場合によっては大きく跳び、凶器に変わってしまいます。 近年発生した災害において、ケガの原因の約30%～50%が家具類の転倒・落下・移動によるものといわれています。 我が家の危険度をチェックし、家具の固定や配置換えなどを行ってみましょう。
	住居周りのブロック塀の点検  (ブロック塀の点検)	[ブロック塀の点検と改善] ブロック塀の点検方法や改善方法、補助制度を紹介  過去の地震では、倒壊したブロック塀や石塀の下敷きになり、多くの方が死傷しています。 家のブロック塀を点検し、危険と判断された場合は、作り替えや改善をしましょう。

	推 進 事 項	実施事例(周知に使えるコンテンツを紹介)
【備蓄】	家庭内の7日分の生活物資の備蓄  (食料・水備蓄)	[食料・水 ローリングストックリーフレット] ローリングストックによる7日分の食料備蓄の紹介  大規模地震直後は、物流がストップすることが予想されるため、まず家庭で、食料・水を7日分備える必要があります。しかし、非常食を7日分備蓄するのは大変です。そこで、災害時の備蓄は、体調維持も踏まえ、「食べ慣れた食品」を活用し、ローリングストックで備えましょう！
	携帯トイレの備蓄  (携帯トイレ備蓄)	[携帯トイレの備蓄リーフレット] 携帯トイレの備蓄の必要性や活用方法の紹介  食えること、飲むことと「排せつすること」はセットです。水道が止まったら、下水道が破損したら、トイレは使えません！トイレを気持ち良く使うことができないと、体調を崩したり、災害関連死につながる可能性もあります。自分と家族を守るため、「携帯トイレ」も備蓄しましょう！
【確認】	ハザードマップ等を 確認  (防災アプリ) ※防災アプリは 多言語に対応して います。	[県総合防災アプリ『静岡県防災』] (以下、「防災アプリ」と記載) 「マップ・避難場所等」メニューで、ハザードマップや避難場所等を 地震(揺れ)、津波、洪水、土砂災害、火山(富士山)に関する情報を一元的かつ手軽に確認できます    防災アプリの説明動画です。
	家族の安否確認方法・集合場所のルール作り	防災アプリで家族の安否を確認 各家庭で災害ごとの避難行動と集合場所を共有  安全確認用コンテンツも充実しています。 「設定メニュー」→「安否登録」で ・ 災害用伝言板(Web171) ・ 安否登録・確認 (Google パーソンファインダー) を用いて 災害時の安否を確認することができます。

	推 進 事 項	実施事例(周知に使えるコンテンツを紹介)														
【確認】	災害種別に応じた適切な避難行動の理解促進	[DIG (災害図上訓練)] 地図を囲みながらゲーム感覚で災害時の対応策を考えることができる実践想定型訓練の紹介 Disaster (災害)、Imagination (想像力)、Game (ゲーム) の略  ハザードマップやまちあるきで地域の状況を確認し、避難経路や防災対策について家族や地域で話し合ってみましょう！														
	南海トラフ地震臨時情報	[南海トラフ地震臨時情報] 南海トラフ沿いで大規模な地震が発生する可能性が高まった場合に発表される「南海トラフ地震臨時情報」について紹介  〔過去事例〕 <table><tr><th>1854年</th><th>1944年</th></tr><tr><td>安政東海地震</td><td>昭和東南海地震</td></tr><tr><td>M8.6</td><td>M8.2</td></tr><tr><td>約32時間後</td><td>約2年後</td></tr><tr><td>M8.7</td><td>M8.4</td></tr><tr><td>1854年</td><td>1946年</td></tr><tr><td>安政南海地震</td><td>昭和南海地震</td></tr></table> ※Mはモーメントマグニチュード ※西側で先に大規模地震が発生する可能性もあります。	1854年	1944年	安政東海地震	昭和東南海地震	M8.6	M8.2	約32時間後	約2年後	M8.7	M8.4	1854年	1946年	安政南海地震	昭和南海地震
	1854年	1944年														
安政東海地震	昭和東南海地震															
M8.6	M8.2															
約32時間後	約2年後															
M8.7	M8.4															
1854年	1946年															
安政南海地震	昭和南海地震															
特別警報の確認	[命を守るために知ってほしい「特別警報」] 「特別警報」とは、警報の発表基準をはるかに超える大雨や、大津波等が予想され、重大な災害の起こるおそれが著しく高まっている場合に発表し、最大級の警戒を呼びかけるものであり、気象庁では、平成25年8月30日から運用しています。 特別警報が発表された場合、お住まいの地域は数十年に一度の、これまでに経験したことのないような、重大な危険が差し迫った異常な状況にあります。この数十年間災害の経験が無い地域でも、重大な災害の起こるおそれが著しく高まっていますので、油断しないでください。 特別警報が発表されないからといって安心することは禁物です。気象庁では、特別警報だけでなく、危険度の高まりに応じて警報や注意報も発表しています。大雨等においては、特別警報の発表を待つことなく、時間を追って段階的に発表される気象情報、注意報、警報やキキクル（危険度分布）等を活用して、早め早めの避難行動を心がけてください。															

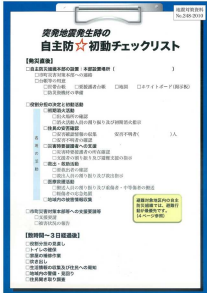
	推 進 事 項	実施事例(周知に使えるコンテンツを紹介)
	避難情報 (避難情報)	[避難情報に関するガイドライン] 警戒レベルと避難情報について紹介  自分の命を守るため、「避難指示」が出たら、必ず避難しましょう。 ・市町は危険な場所からの避難のタイミングとして、警戒レベル4「避難指示」を発令します。 ・災害が発生・切迫し、警戒レベル4での避難場所等への避難が安全にできない場合には、自宅や近隣の建物で緊急的に安全確保するよう促すため、警戒レベル5「緊急安全確保」を発令します。 ・避難行動要支援者は、警戒レベル3の「高齢者等避難」で安全な場所に避難しましょう。
	地震から命を守るために  【確認】 (パスポート)	地震からあなたと家族を守る「命のパスポート」 地震発生時の行動を確認  南海トラフ地震臨時情報発表の流れ  カードサイズに印刷し常に携帯しましょう。 対応言語 日本語、英語、ポルトガル語、フィリピン語、インドネシア語、ベトナム語
	自然災害から命を守るために  (政府広報)	[自然災害から命を守るため、知っておいてほしいこと] 防災・減災に役立つコンテンツをテーマ別・災害別に紹介 

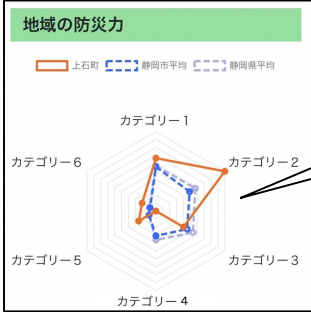
② 命を守る行動に繋げるための取組

	推 進 事 項	実施事例(周知に使えるコンテンツを紹介)
【点検】	一人ひとりの避難計画「わたしの避難計画」  (避難計画)	[一人ひとりの避難計画「わたしの避難計画」] 「わたしの避難計画」の概要や作成方法を紹介   作成方法(動画) 紙の場合  作成方法(動画) PC、タブレットの場合 身の回りの災害リスクに備えて、「どのタイミング」で「どこに」避難するか、決めておき、早期避難につなげましょう。家族で話し合っ て、「わたしの避難計画」を作成し、目のつく場所に貼 っておくことで、いざとい うときの避難に役立ちま す。
	避難シミュレーション  (防災アプリ避難 トレーニング)	[避難トレーニング機能] 防災アプリで避難トレーニングを実践  個人や家族で実際にやってみよう。 ・避難先までの経路や時間 ・津波到達アニメーションで経路の再確認 ●操作方法  ※避難先までの避難が間に合わなかった場合は、避難経路の見直し などを検討しましょう。 例えば：ここを上る階段があれば・・・ ここを渡る橋があれば・・・  下田市で実施した避難訓練を元に作成した 避難トレーニングの動画です。
	「まち歩き」の実 践  (まち歩きシム)	[防災まち歩きシミュレーション] 静岡県と包括連携協定を結んでいる東京海上日動制作のHPを紹介  親子で自宅や通学路などの探検を して、まちの中にどんな危険があ るか確認してみましょう。

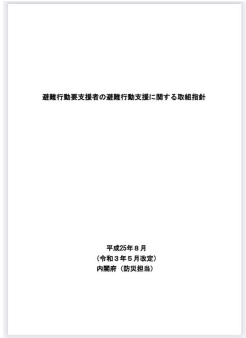
(2) 共助

① 地域の防災力を底上げするための取組

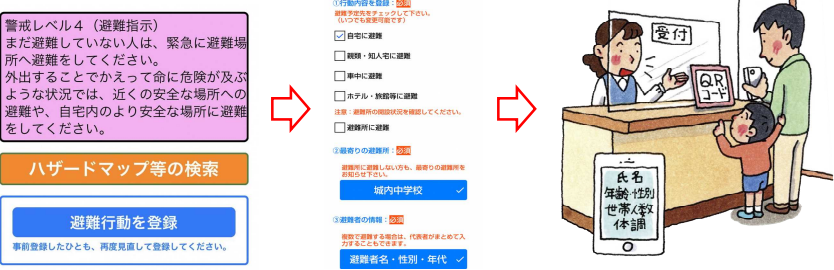
	推進事項	実施事例(周知に使えるコンテンツを紹介)
	地域防災活動内容の把握  (マニュアル)  (防災ナビ)	[地域防災活動マニュアル、ふじのくに防災ナビ] 「地域防災活動マニュアル」と「ふじのくに防災ナビ」で地域防災活動について紹介   地域防災活動の手引書である「地域防災活動マニュアル」には、自主防災組織の体制や平常時の防災活動、災害発生時の対応などを掲載しています。マニュアル等を活用して、地域防災力を向上しましょう。 ※地域防災活動マニュアルは、「自主防災組織活動マニュアル(2013 作成)」の名称を「地域防災活動マニュアル」と変更し、内容を更新したものです。  二つの冊子を説明した動画で内容と使い方を御確認ください。
【体制】	地域内の連絡体制  (初動チェック)	自主防災組織、消防団、学校、事業所等など、この機会にお互いで、連絡体制を確認してみましょう。[突発地震発生時の自主防初動チェックリスト] ○非常時の連絡先の再確認 ・連絡網の作成 ・電子メール ・LINEなどのITツールの活用 ○防災アプリの活用 ・災害状況の投稿 ・避難所状況の投稿(早めの避難) 
	自主防災組織内の人材台帳の作成  (人材台帳)	[人材台帳作成のすすめ] 防災・減災という共通の目的のために、力を発揮してもらえる地域の体制づくりを紹介  平常時から、専門知識や資格、技能を持っている人に協力してもらえる仕組み作りが地域防災力強化に繋がります！ 地域の人材を発掘し、災害時の協力体制を構築しましょう。

	推進事項	実施事例(周知に使えるコンテンツを紹介)
【体制】	自主防災組織の運営体制の確認  (防災アプリ)	[防災アプリで自主防災組織体制を強化] ア 自主防災組織簡易評価カルテ ・自主防災組織の防災力を個別にチャート化し、「自主防災組織簡易評価カルテ」として結果をフィードバック ・今後の取組へのアドバイスや優良事例などの参考情報を確認  県・市町平均との比較ができます。  自主防災組織向けカルテを説明した動画で内容と使い方を御確認ください。 イ 防災アプリアンケート機能 アンケート機能を活用し、行政と各自主防災組織間で情報共有 ウ 防災アプリ投稿機能 気象・災害の情報や避難所・避難場所の情報を映像と合わせて投稿し、利用者で共有  県災害対策本部で投稿を情報を収集しています。また、避難所・避難場所の状況の投稿をしていただくことで早期避難を促すことができます。御協力をお願いします！  自主防災組織向け機能説明動画で内容と使い方を御確認ください。 ※安全を確保して、危険な箇所へは近づかず投稿してください。 <参考：防災アプリの設定>  設定メニューボタン  関係者ログイン 自主防災組織の選択  3×3桁の数字↓ログインボタン 防災アプリの自主防災組織向け機能の活用ログインID（3×3桁の数字）は、各市町防災部局又は静岡県危機管理部危機情報課までお問合せください。 危機情報課 TEL：054-221-2644 危機情報課メールアドレス：boujou@pref.shizuoka.lg.jp

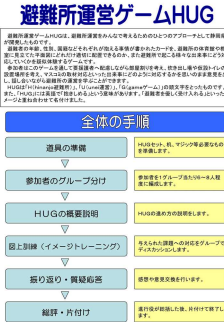
	推進事項	実施事例(周知に使えるコンテンツを紹介)
【体制】	運営に女性の意見を反映  (男女共同参画)	[～男女共同参画の視点から～みんなが共に支え助け合う防災ブック] 男女双方の視点を取り入れた防災体制づくりと避難所の運営を紹介  地域での男女共同参画の浸透及び地域防災力の強化を図るため、自主防災組織の役員などの地域防災に関わる方向けに、分かりやすく解説する啓発冊子。
	様々な人がともに助け合う防災体制  (外国人住民向け)	[外国人住民のためのガイドブック] 避難生活の様子や地震の基礎知識などを紹介 ア 外国人住民のための避難生活ガイドブック イ 地震防災ガイドブック「やさしい日本語」版   「英語版」「ポルトガル語版」「フィリピン語版」「インドネシア語版」「ベトナム語版」「やさしい日本語版」の6種類を発行しています。
	協働による自主防災組織の活性化  (自主防災組織)  (企業の地域貢献)	[協働による自主防災組織の活性化のための取組] ア 協働(コラボレーション)による自主防災組織の活性化をめざして 地域の防災人材や消防団など防災に関する専門的な知識と経験を有する方と協働(コラボレーション)して組織を活性化させましょう イ 企業の持つ『組織力』『資材力』『技術力』を生かした地域貢献 お住まいの地域にある企業に目を向けてみませんか？企業には、多彩な従業員と組織力、日常の業務で使用している資器材や商品、日常の業務で培った知識や技術がありますので、企業と防災協定などを結び、災害時に連携しましょう 
	若年代の地域防災の取組への参加・防災教育 中・高校生の地域防災訓練への参加の促進を含む  (ジュニア防災士)	[ジュニア防災士の取組]  大学生や若年層の方々は、地域の活動や防災訓練などへの参加を通じて、地域との関係を深めることにより、災害時には支援者としての活動が期待されます。 ・ジュニア防災士など防災講座の講師 ・学校等と連携した防災訓練

	推進事項	実施事例（周知に使えるコンテンツを紹介）
【支援】	避難行動要支援者の所在の把握と支援方法の確認  （避難行動要支援者）	〔避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針〕 避難行動要支援者名簿とは、避難行動要支援者の生命・身体を災害から保護するために必要な措置を実施するための基礎となる名簿です。 名簿の作成とともに、地域の特性や実情を踏まえつつ、名簿情報に基づき、市町や民生委員、社会福祉協議会、自主防災組織・自治会、福祉事業者等が中心となって避難行動要支援者と打ち合わせ、個別計画を策定しましょう。 普段から住民同士が顔の見える関係を構築し、避難行動要支援者が地域で孤立することを防ぎ、地域にとけ込んでいくことができる環境づくりに努めることが、発災時の円滑かつ迅速な避難支援に繋がります。 

② 地域全てで運営・参加する取組

	推進事項	実施事例（周知に使えるコンテンツを紹介）
【運営】	避難所開設訓練の実施  （防災アプリ）	〔感染対策を踏まえた避難所開設訓練〕 ○防災アプリ 避難所支援機能 ・受付時の接触を低減 ・避難所利用簿の自動作成 ・健康状態の確認（受付時、お知らせ配信） ・全ての避難者へ防災アプリからお知らせ ※避難所以外の避難者の登録が可能になりました。避難情報に登録ボタンが表示されます。 （下図ア） ○ 自動受付簿作成機能 ○ 避難者情報共有機能   ア イ ウ ア、イ、ウの順で登録、受付をしてください。避難所以外への避難の方は、イ までです。詳細は動画で確認できます。 在宅避難、車中避難など避難行動中の方全てにお知らせを配信をします。※災害時は情報を様々な方法で手に入れる準備が必要です。  避難所支援機能（一般向け）の動画で内容と使い方を御確認ください。  避難所支援機能（管理者向け）の動画で内容と使い方を御確認ください。

	推進事項	実施事例(周知に使えるコンテンツを紹介)
【運営】	避難所運営マニュアルの確認  (避難所運営)	[避難所運営マニュアル] 避難所運営に必要な体制や行動等を紹介  大規模災害発生後に避難所利用者が、円滑に避難所運営を行うために必要な事項をまとめています。 避難所立ち上げ時にやるべき事や、各活動班の仕事等をチェックリスト形式でまとめられており、実際の避難所運営時に活用できます。
	男女双方の視点を取り入れた避難所運営  (ペットの地震対策)	[避難所のペット飼育管理ガイドライン] 避難所運営本部と飼い主に向けに役割やルールなどを記載  災害時、飼い主は、原則としてペットと同行避難をする必要があります。 また、同行避難後、自宅損壊等により在宅避難ができない場合、避難所のペット飼育場所において、飼い主自身が全責任を持って飼育管理することが原則となります。 飼い主の方は、ペットの安全と健康を守るとともに、他者への迷惑にならないように日頃からの備えに努めましょう。
【訓練】	防災訓練の実施  (マニュアル)	[地域防災活動マニュアル] 各種防災訓練の内容について紹介  地域防災活動マニュアルの32ページから69ページに、防災訓練についての説明が掲載されています。 地域の特性にあった防災訓練を実践しましょう。
	自主防災組織本部体制の確認訓練  (イメージTEN)	[イメージTEN (自主防災組織災害対応訓練)] 地震発生時に自主防災組織の役員や住民の対応を考えるイメージトレーニング訓練 Image (想像) Training (訓練) & Exercise (演習) of Neighborhood (隣近所) の略  災害時に、自主防災組織がどのように対応したらいいかを具体的に考えるイメージトレーニングです。 イメージする課題が最大10題付与されることも「TEN」の由来です。 ※1人では難しいシミュレーションです。 複数人で実施する際は感染症対策をしましょう。

	推進事項	実施事例(周知に使えるコンテンツを紹介)
【訓練】	避難所運営体制の 確認訓練  (避難所運営ゲーム (HUG))	[避難所運営ゲーム (HUG)] カードを用いて避難所運営を疑似体験する図上訓練 「H (hinanjo 避難所)」「U (unei 運営)」「G (game ゲーム)」 の頭文字を表す。  様々な事情を抱えた避難者が避難してくる状況の中、各種イベントへの対応も含め、避難所運営をどのようにしたらいいかを具体的に考える疑似体験ゲームです。 「HUG」は英語で「抱きしめる」という意味があり、避難者をやさしく迎え入れてほしいとの願いが込められています。 ※1人では難しいシミュレーションです。 複数人で実施する際は感染症対策をしましょう。
	避難訓練	[地域防災活動マニュアル] (再掲) 避難訓練の内容について紹介   地域防災活動マニュアルの61ページから65ページに、避難訓練についての説明が掲載されています。 地域で予想される災害を対象に避難訓練を計画しましょう。 [避難トレーニング機能] (再掲) 防災アプリで避難トレーニングを実践  ※避難場所は、いつでも同じと思いませんか？ 地域の方々と一緒に「突発地震」「津波避難」「洪水・土砂災害」「火山災害」など災害種別ごとの避難訓練を行ってみましょう。
	地域の安否確認体制の確認  (富士宮市の取組例)	[安否確認訓練] 家族が無事であることをお知らせするシンプルな方法として「黄色いハンカチの掲示」があります。 ※他にも様々な取組がありますので実践については、お住まいの市町へお問い合わせください。 

[危機対応におけるPDCA]

P：計画・D：訓練



[地区の防災計画作成]



[わたしの避難計画の作成]



[訓練の実施]



[周知啓発]

C：評価



[市町との連絡体制の確認]



[防災人材からのアドバイス]

- ・市町や消防機関等との協力・情報提供
- ・地域防災指導員や防災士など防災に関する知識や技能を持った人材の活用

A：改善



[持ち物、備蓄品の確認]



[事前対策]



[点検]

自主防災活動の普及啓発（認知率の向上）
地区の防災計画の見直し
防災倉庫の備品確認
避難所の備品確認

ハザードマップの確認
指定避難場所までのルート、時間の確認

持ち物などの確認
備蓄品の確認（食料・水・携帯トイレ）
服装の確認（防寒対策、雨対策、靴）

住宅の耐震化
家具類の固定
被害の最小化対策・点検